

## 海外ビジネス情報



大連

大連で「国際デジタル&ソフトウェア  
サービス見本市」が開催北陸銀行 国際部  
大連駐在員事務所  
金春梅

## 1. はじめに

2024年11月29～30日、大連にて「2024中国国際デジタル&ソフトウェアサービス見本市」（2024中国国際数字和軟件服務交易会、以下「数交会」）が開催されました。今回の数交会は「デジタル経済の新たな発展をリード」をテーマに、著名な専門家・学者と業界のリーダー企業など5,000人余りがゲスト参加し、技術交流、国内外のデジタル分野の新製品・新技術・新サービスの発表などを行いました。

このレポートでは、数交会および大連のデジタル産業の歴史についてご紹介したいと思います。



【数交会会場の「大連世界博覧広場」】(筆者撮影)

## 2. 数交会のイベント内容

- 開幕式では、「大連ソフトウェア産業革新センター」の設立式典が行われました。同センターは、大連高新区と大連理工大学が共同で運営しており、工業用ソフトウェアの研究や開発が行われています。
- 数交会は「オンライン」と「オフライン」で開催され、500社余りの国内外のリーダー企業が出展しました。デジタル科学技術産業の革新的な製品や技術、応用シーン、ソリューション及び商業協力モデルなどの展示コーナーがありました。
- 期間中、「2024 中国(大連)人工知能&ソフトウェア工学フォーラム」、「医療、教育、金融サービス・商品の海外進出」、「デジタル技術と実体経済のマッチング交流会」など様々な会議も同時開催されました。



【大連理工大学開発のロボットシステム】(写真:筆者撮影)

●オフラインでは26の特設企業ブースに加え、ゲームコンテスト、アニメカーニバル、「チェックシャツ祭り」というソフトウェア企業交流会などのイベントブースも設置されていました。さらに、オンラインクラウド展では、仮想ブース、オンライン中継、3D展示など様々な形でデジタル世界の展示が行われていました。

【大連AI会社「文遠知行」の自動運転バス】  
(写真:筆者撮影)



### 3. 大連のデジタル産業の概要

大連のデジタル産業は1998年にスタートしました。大連市は全国に11か所ある国家ソフトウェア産業基地の1つに選ばれており、ソフトウェア開発の最先端にあります。3,000社以上の関連企業が集まり、従業員は20万人を超え、産業規模は1,000億元（約2兆1,000億円※）を超えており、高新園区と旅順南路ソフトウェア産業帯を中心とした産業集積区を形成しています。

また、大連には人工知能(AI)関連企業が150社以上あります。アクセンチュア、IBM、HP、ジェンバート、パナソニックなど世界500強企業のうち145社が大連に所在し、サービス対象は北東アジア、北米、欧州などの国に広がっています。

### 4. おわりに

今回の数交会では、新たに10項目の重点プロジェクトの契約が行われました。また、大連市の200項目のデジタル化応用シーンと革新需要が発表され、総投資額は約212億元（約4,450億円※）と試算されています。

大連市は、今後より多くのデジタル企業や人材を大連に集め、デジタル産業の集積地として中国の製造業を世界トップレベル水準に押し上げようと画策しています。

※1元=21円換算

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
((株)人材情報センター内)  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp